

霊的同伴者の養成ートライアド・プラクティスを通して

2023年5月27日(土)
イエズス会司祭 小暮康久

1. オーストラリアでのトライアド・プラクティスとの出会い

- ・オーストラリアにおける信徒の霊的同伴者の活躍
- ・何故、信徒の霊的同伴者が増えていったのか？
- ・オーストラリアにおける霊的同伴者の具体的な養成のプロセスーアルペ・プログラム
- ・日本帰国後のトライアド・プラクティスの実践
霊的同伴者自主学習会 (2016～)
霊性センターせせらぎでの養成研修会Ⅲ (2018～)

2. トライアド・プラクティスとは？

- ・参加者の構成
被同伴者 A、同伴者 B、オブザーバー C、というトライアド (三人組) に、ファシリテーターが加わった構成の中で体験される霊的同伴のトレーニング。
被同伴者 A、同伴者 B、オブザーバー C の役割は、毎回交代して体験されていく。
- ・トライアド・プラクティスの流れ (60分)
 1. A と B による霊的同伴と C による観察のパート…30分
 2. 霊的同伴の振り返りと A、B、C による各々の分かち合いのパート…30分

3. トライアド・プラクティスの具体的な詳細 (ポイント) *別紙を参照しながら

- ・同伴の5つの深さ (次元) について
- ・(イグナチオ的) 霊的同伴の理解のうちー第一義的な導き手は神ご自身
- ・オブザーバー C の役割とオブザーバーコメントシート
- ・その時、そこで体験していた具体的な感覚を振り返るように促す。
- 「霊操」のキーワード「sentir (感じる)」と身体性の領域と「霊的な感覚」
- ・A、B、C、それぞれの分かち合い聞き合いながら自分自身の体験 (感覚) を確認する。
- ・ファシリテーターはそれぞれの分かち合いを受けて、フィードバックへとつなげる。
- ・C は、オブザーバーコメントシートを B に渡す。(B の振り返りと祈りの材料として)

4. トライアド・プラクティスの実践の現在の状況

- ・コロナ禍の中で広がった可能性ーオンラインでのトライアド・プラクティス
- ・生涯養成としてのトライアド・プラクティス
- ・霊性センターせせらぎでの霊的同伴者としての奉仕 (現在の状況)
- ・教会と社会の中でー霊的同伴者という存在 (プレゼンス) を生きること